



駒場 昭夫
(市民連合)

※1 子どもの家指導員 確保策の充実を

問 子どもの家の指導員の確保については、人材登録制度など市の支援策はあるが、募集条件が求職者の意向に合わないことや、新たな求職者が現れないことで契約に至っていない場合がある。子どもの家が独自に指導員募集の新聞折り込みをしたところ一定の成果を得ている。その効果を評価し、市の指導員確保策の一つとして加え、必要経費の全額を負担してはどうか。

答 子どもの家の指導員は児童が健やかに安心して過ごせるよう、児童の育成を支援する役割を担っているため、確実に確保し、適正に配置する

ことが重要である。

新聞折り込みで求人募集を行った子どもの家では募集人員を大きく超える応募があったと聞いており、指導員確保策の一つとして有効であると受け止めている。

また、利用児童数の増加や子ども・子育て支援新制度の影響で指導員の増員が見込まれるため、指導員の確保にさらなる支援が必要である。

各子どもの家の指導員確保の実態を踏まえ、他市の取り組み状況を参考に、経費負担も含めた新聞折り込みによる求人募集など、支援のあり方を検討していく。



▲工作をする子ども

その他の質問項目

- ①特殊詐欺対策②生活道路や通学路周辺の空き家・空き地の安全対策③農業王国一つのみやの取り組み④大谷石利用促進事業補助金の活用⑤自転車のまち宇都宮の推進⑥天然記念物に指定された老木の管理と安全対策⑦女性消防士



佐々木 均
(愛うつのみや)

中心市街地を 歩いて楽しいまちと するために

問 歩きやすく、歩くのが楽しいと感じるまちを目指していくため、中心市街地へ行く際には、公共交通を利用するか、少し離れた駐車場から歩いて行けるのが理想である。そこで、市役所の駐車場を24時間開放する、立体駐車場にして駐車台数を確保する、安価に設定した料金を徴収するなどしてはどうか。また、週末には中心市街地を歩行者天国にするのはどうか。

答 市では、LRTなどの公共交通の充実や、地域資源である釜川沿いの花の植栽、舗装整備などによる、歩いて楽しい

魅力的なエリアづくりに取り組んでいる。

市役所駐車場の料金が無料であることや利用時間については定着しており、数多くの方に利用されている。夜間のニーズは少ないものと認識しており、現行どおりとしたいと考えているが、今後の利用状況などを見極めながら検討していく。

歩行者天国化は、商業活動や地元住民の生活への影響なども想定されるため、その効果や課題について地元住民など意見交換しながら、現在イベント時に取り組んでいる歩行者天国の拡充なども含めて検討していく。



▲釜川沿いの花の植栽

その他の質問項目

- ①みんなに選ばれたまちとなるために必要な中心市街地の活性化(オリオン通りの商店街に対する支援など)②イデオロギーに訴えるふるさと納税③市の人口減少対策としての結婚支援④LRT沿線に目的地をつくる必要



内藤 良弘
(自民党)

※2 国本西小学校周辺の 地区計画制度の 活用

問 現在、国本西小学校周辺は市街化調整区域のため、店舗や居住の誘導が難しい状況にある。

市は市街化調整区域でのコミュニティ維持に向けて地区計画制度の運用方針を示したが、国本西小学校周辺地区は、国本地区市民センターを中心とした地域拠点に比べ、居住ニーズなどから地区計画制度の活用が難しい。

地区計画制度の活用に向け、地域としても魅力づくりに取り組まなければならぬと考え、それに対し行政はどのように対応するのか。

答 ろまんちっく村や、豊かな農業生産基盤など

の地域資源を生かした居住地の魅力づくりに取り組むことは、地区計画制度の活用のための有効な取り組みであることから、支援に取り組んでいく。

今後、国本地区の地域拠点へのスーパーなど生活施設の誘導による利便性向上や、アクセシビリティを高めるための地域内交通の充実を図ることなどで、小学校周辺での地区計画制度の活用につなげられるよう、地域と一体となつてコミュニティの維持に取り組んでいく。



その他の質問項目

- ①市民に愛され親しまれる本庁舎の改修②障がい者就労支援事業所での障がい者の工賃向上③住民主体の生活支援体制整備事業の進め方④災害時の医療救護体制⑤国際的スポーツイベントの充実⑥ろまんちっく村の生活排水処理行政⑧学校運営の充実に向けた学校事務体制の強化

※1子どもの家(放課後児童健全育成事業)・・・保護者が就労等により居間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後等に適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全育成を図るもの。
※2市街化調整区域・・・市街化を抑制する区域で、優良な農地や緑地・森林・河川などの保全を図る地域